

2018 年度第 1 回界面特性を利用した粒子設計とプロセス開発に関するワークショップ

主催：(一社)粉体工学会 界面特性を利用した粒子設計とプロセス開発に関するワークショップ

粉体工学では、粉体を扱う単位操作・装置に関する研究を主とした研究と、具体的な粉末の機能性向上や製品開発を主とした研究に分かれます。どちらにも共通して、粉体界面の特性を知り、これを制御することが必要となります。本ワークショップでは、粉体を取り扱う多分野の研究者及び技術者に参加いただき、界面をキーワードとした粒子設計、機能化及びそのプロセス開発に関して、分野を超えた情報交換を行う場を提供いたします。

なお、本ワークショップ終了後、同日、同会場にて「熱電変換薄膜材料及びプロセス開発研究会」を開催し、豊橋技術科学大学 服部敏明先生をお迎えして「生体イオン放出・吸収導電性高分子プローブ」のご講演をお願いしておりますので、引き続きご参加いただければと思います。

日時：2018 年 9 月 4 日(火)

場所：名古屋工業大学 4 号館会議室 2 (<https://www.nitech.ac.jp/access/campusmap.html>)

13:30-14:15 岸 直希氏 (名古屋工業大学准教授)

「フレキシブル有機系熱電変換薄膜材料の作製と評価」

14:15-15:00 高井千加氏 (日本学術振興会特別研究員・名古屋工業大学)

「透明断熱薄膜を目指したナノシリカ中空粒子の微構造設計」

参加費：1,000 円 (「熱電変換薄膜材料及びプロセス開発研究会」参加者は無料)

参加定員：20 名 (定員に達し次第、申込は締切らせていただきます)

参加申込締切：2018 年 8 月 24 日 (金)

※参加ご希望の方は、下記 E-mail まで、①ご氏名、②ご所属、③E-mail、④ワークショップ参加可否、⑤研究会参加可否、⑥交流会(研究会終了後 17:00~同大学内にて)参加可否についてお知らせください。

お問い合わせ先：名古屋工業大学 先進セラミックス研究センター

高井千加 (E-mail: c_takai@crl.nitech.ac.jp)